

「人権」と聞くと「かた苦しい」とか「むつかしい」というイメージを持っている人がいるかもしれませんが、実は、私たちのすぐ身近にある問題なのです。

昨年の11月24日(日)の熊日新聞で、「難病の橋本さん 母校・南関中で講演 教員合格『努力で夢かなう』」という記事に出会い、7年前の橋本紗貴さんの顔が瞬時に甦ってきました。

7年前、私は南関町南町民センターで開催されている「解放子ども会学習会」に参加していましたが、そこに、高校一年生の紗貴さんがお母さんから車で送ってもらい、参加してくれたのです。車椅子を押し、紗貴さんのことを温かく見守るお兄さんといつも一緒でした。中高生のなかまが車座になって、「将来の夢」を語り合った時、紗貴さんは「私は先生になりたい」とはっきりとみんなに伝えたのです。

紗貴さんは、中学一年生のときに、ギラン・バレー症候群を発症し、両足と右腕が動かさず左腕は手の親指と人差し指以外は力が入らなくなりました。さらに、視覚や聴覚にも障がいがありました。生きる希望さえ失いかけた紗貴さんを家庭訪問し、支え励まし続けたのが担任の先生でした。先生の「今の状態から逃げ出す方法はたくさんある。でも逃げ出すと、もっと大きな困難が待ち受けている」という言葉に出会った紗貴さんは、困難に立ち向かう決心をします。三年生になり、クラス

のみんなと体験できた修学旅行。そして、車椅子の生徒は受験できないという高校受験の壁も、先生の願いで問題用紙の拡大と別室受験が認められ、見事に合格を勝ち取ったのです。その年に学習会に参加し始めた紗貴さんにとっての夢は、「自分に生きる希望を与えてくれた担任のような先生になること」だったのだと思います。

新聞記事には、昨年9月の県教職員採用試験で特別支援学校教諭に合格したこと。講演では、「視線で文字入力できる機器の操作を習得したことや、両親や恩師らの励ましで自身を支える力になったこと。『今の自分を受け入れて精一杯生きることが大切』と語ったこと」などが掲載されています。

瞬時にして身体を奪われ、生きる希望さえ失いかけた紗貴さんが、あるがままの自分を受け入れ、「先生になりたい」という夢を実現していくまでの道程を思う時、胸が震えます。

ご両親や担任の先生はもちろん、紗貴さんの周りですりげなく紗貴さんを支えてくれた全ての人たちが輝いて見えます。

私たちが目指す人権の町とは、だれもが持っている「幸せになりたい」という願いが尊重され、全ての人が「生まれてきてよかった」と実感できる町なのです。そのような町づくりを目指しましょう。

旬のものを
簡単アレンジ 「ピーマンの鶏みそそばろ」

健康福祉課 保健予防係
☎ 0968・86・5724



- 【材料（4人分量）】
- ピーマン…………… 4個
 - 鶏ひき肉…………… 100g
 - 玉ねぎ…………… 50g
 - みそ…………… 大さじ2
 - 酒…………… 大さじ2
 - 砂糖…………… 大さじ1
 - みりん…………… 大さじ1
 - 水…………… 1/2カップ
 - 片栗粉…………… 小さじ1
 - サラダ油…………… 大さじ1/2
- 【作り方】
- ① ピーマンは縦半分に切ってへたと種を取り除き、1cm角に切る。玉ねぎはみじん切りにする。
 - ② フライパンにサラダ油を熱し、①のピーマンと玉ねぎを中火で軽く炒めてから、鶏ひき肉を加え、ほぐしながら炒め合わせる。ひき肉の色が変わったら、Aの材料を加え、ふたをして煮る。
 - ③ ②の煮汁が半分になったら、みそを加えてひと煮立ちさせ、同量の水で溶いた片栗粉を加えてとろみをつける。

ひとくちメモ&栄養コメント

常備菜としても活用でき、蛋白質と野菜の組み合わせでバランスの取れた1品になります。

文芸広場

菊水短歌会

咲くも夢散るも夢なれ人びとは
四月桜の下かげ歩む 東 左千子

催花雨に向ひ家のみみじ新みどり
意気揚々と春をつげる 池田たかお

残りし日々は思い出温め生くもよし
小鉢の花と遊ぶもよきか 坂口志げ子

雲海をしとねにふわり涅槃像
野焼きを終えて春待つ阿蘇路 石山 幸子

クルーズ船の豪華さに酔い知らぬ儘
コロナと同居恐ろしき旅 阪野 章子

庭に咲く大根の花供花となす
覚えてますかと声かけながら 荒木 智子

初夢をすっかり忘れた令和二年
今年の運勢などの又なぞ 坂本 竹子

かなしき原俳句会
古茶淹れて自肅自肅の日を重ね しん子
尾根を行く若葉の風に包まれて 康子
白藤へ風たをやかに戯るる 弘子
山の端のスーパームーン春霞 誠一
疫病の終息祈る聖五月 貞子
コロナ禍の八十八夜火を灯す 明

菊水俳句会

ひと雨のたびに緑の山河かな
宮中 康雄

少々の雨には負けず鉄線花
山どてに色あざやかなつじかな 永田 紘彦

コロナ禍や吾が住む里に風薫る
手ふるるものみなやさし木芽風 池田 松子

肥後狂句
同窓会 ちがう話はなかつかい 高木せいや
同窓会 成績順じゃ無ア出世 池田 茜

しちくどか 一回聞くと覚えとる 瀬上 歌子
いらアン事 わが老体も考えず 井上りんどう
やめなつせ 田舎は車手放せん 石原かわせみ
雨ばかり ナバは畳に植わつとる 庄山 道草
とつけむにゃあ 孫て思たら我か子かい 二瀬 桔梗
とつけむにゃあ 娘んこたる嫁もち 福永すみれ

和水町公民館図書室だより

中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

なかなか外に出られない今だからこそ、家の中で一人で、あるいは家族みんなのでできること…今月は、「おうち時間」を楽しむヒントになる本を紹介します。



「お繕い」で
服を育てる。
著者：堀内 春美
株式会社：主婦の友社

「…お気に入りの服の一部が薄くなってきたら繕って、破れたらまた繕ってを繰り返す。すると服はどんどんオリジナリティを帯びていき、「私だけの服」に育っていきます。

そこには、新しい服を買い、少し着て、すぐ捨てる消費型のおしゃれからは得られない喜びがあります。…」こう語る著者の、すてきな手仕事を楽しめる一冊です。



「脳トレ・制作・
リズム体操」
著者：井上 明美
株式会社：自由現代社

副題に「デイサービス、介護現場ですぐ使える！」とあるように高齢者向けの本ですが、まちがい探しやめいろ・クイズがあったり、簡単につくることができる制作など、家族で楽しむことができる一冊です。「何もすることがないなあ…」という時に、ぜひ活用してください。